

平成23年7月29日

各位

会社名 フクダ電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 福田 孝太郎
(JASDAQコード6960)

問合せ先
役職・氏名 専務取締役 藤原 潤三
電話 03-5684-1558

業績予想の修正に関するお知らせ

この度の東日本大震災により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社は最近の業績動向や生産拠点の状況を踏まえ、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

1. 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 40,000	百万円 2,800	百万円 2,800	百万円 1,400	円 銭 77.87
今回発表予想(B)	百万円 42,000	百万円 3,300	百万円 3,400	百万円 1,600	円 銭 93.04
増減額(B-A)	百万円 +2,000	百万円 +500	百万円 +600	百万円 +200	
増減率	% +5.0	% +17.9	% +21.4	% +14.3	
(ご参考)前年度 第2四半期累計期間	百万円 43,356	百万円 4,101	百万円 4,132	百万円 2,445	円 銭 132.41

2. 修正理由

平成23年5月13日に公表致しました業績予想は、電子部品を供給いただいている取引先が被災し、当社が製造しているME機器の一部において納期遅延や供給できない期間が生じる可能性があること。

当社グループの多賀城研究所が被災し、生産再開の目途が立っていなかったこと。

さらには、夏場にかけて予測される電力逼迫による生産計画への影響が不透明であったこと。

これらのリスクを主に第2四半期累計期間(平成23年4月1日～9月30日)に織込みましたが、フクダ電子多賀城研究所が7月1日より一部の製品において生産を再開し、夏場の電力供給懸念も当社や各企業の節電及び省エネルギー対応により、回避できる見通しです。

その結果、第2四半期累計期間までの業績は予想を上回る見通しとなりました。

現時点では殆どの取扱製品のご要望にお応えできておりますが、電子部品を供給いただいている取引先の被災により、依然として一部の取扱製品において納期遅延や供給ができない期間が生じる可能性がございます。

フクダ電子グループは引き続き 製品の安定供給に向けて、全力で対応してまいります。現時点では通年度の業績予想を見直すまでには至っておりません。

今後 業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表致します。

※ご注意

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上